SEIKO

置時計
取扱説明書
ソーラー電波クロック

お買い上げありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＧ○○○など）

フリーダイヤル
お客様センター　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp
発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　FSQ-047L

製品の特長

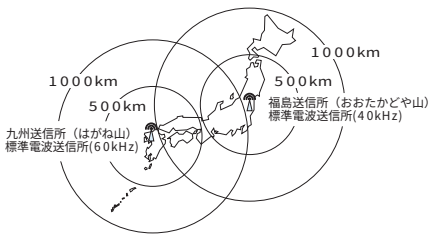
- 東西電波（福島・九州）を自動選局。
- 標準電波を受信して現在時刻を表示する、電波修正機能付き。（日本国内対応）
- 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。
- 蛍光灯などの光を電気エネルギーに変換して動く光発電機能付き。
- 温度表示付き。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは
情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヶ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について
●標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００km～１２００kmの範囲です。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意
●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス　http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。
次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
●ビルの中、ビルの谷間、地下。
●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

保証・アフターサービス

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
●保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
●この時計の修理部品は７年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所　つぎのような所では、使わないでください。
●温度が－１０℃（氷点下１０度）以下になる所。
●温度が＋５０℃（５０度）以上になる所や直射日光が当たる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
●浴室など湿気の多い所。
●強い磁気や振動がある所。
●電波ノイズを発生させるものの近く。
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

■お手入れ方法　日常のお手入れの仕方
●枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

光発電について

■光発電とは
光をあてることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。明るさが一定以上の場合、時計内部の充電池に充電をしながら、暗いときはその充電池に貯めておいた電気で時計が動きます。

■使用場所について
本製品は、光発電により動く時計ですので、できるだけ明るい場所でご使用ください。
光発電によりご使用になるには３００ルクス以上の明るさが１日あたり８時間以上必要です。
省電力化のため、暗い所（約１０ルクス以下）では、時刻、日付、温度表示を消灯します。

表１：時計をお使いになる場所の明るさと時間の目安

照　度	環境の目安	１日に必要な時間
３００ルクス	明るいリビング内 オフィス内	８時間以上
７００ルクス	明るいオフィス内	３時間以上

※寝室や窓のない部屋などでは充分な明るさが得られない場合があります。

⚠ 注意　太陽光に直接あてないでください。このソーラー電波クロックは、屋内専用です。直射日光をあてると、光発電の能力が低下する原因となります。

液晶パネルについて

⚠ 注　意

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低１５分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
●温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
●液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

温度表示について

●**温　度　精　度：±2℃（0℃～＋４０℃の範囲）**
●センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
●温度が以下の状態になったときの表示
- **温度**　－４０℃より低い：「－－.－」　　＋７０℃より高い：「－－.－」

製品仕様

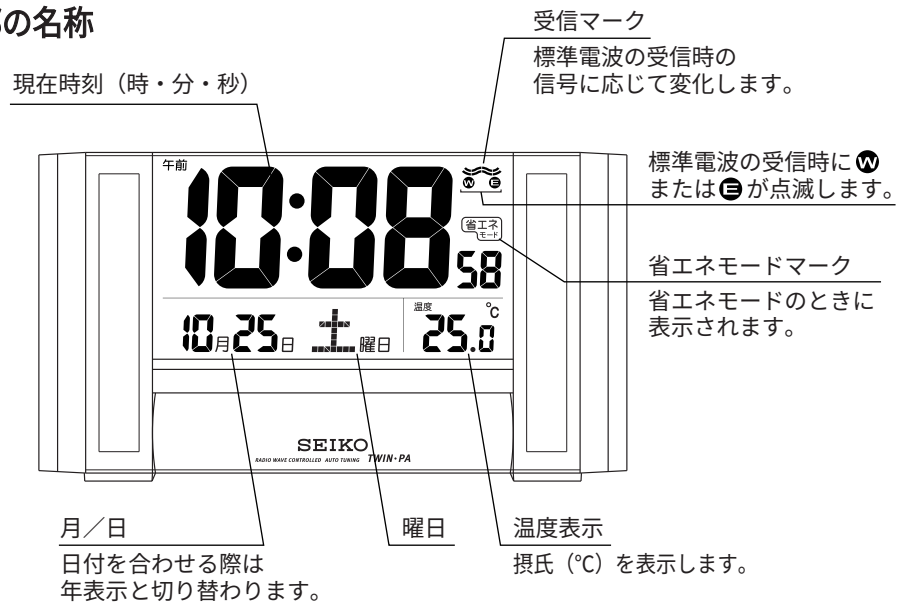
●精　　度　：平均月差±３０秒（気温５℃から３５℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
●表示精度　：±１秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
●使用温度範囲　：－１０℃～＋５０℃（ただし、表示判読可能温度範囲　０℃～＋４０℃）
●表　　示　：カレンダー（月・日・曜日）　時刻（時・分・秒）
●カレンダー　：月末、うるう年とも修正不要。
２０００年～２０６９年まで表示
●時　　刻　：午前／午後による１２時間制表示
●ソーラーセル　：薄膜太陽電池
●充電池･補助電池　：リチウム電池
●光発電　：①３００ルクス以上の明るさを１日あたり８時間以上受けた場合、
時計は光発電と充電池の電気で動きます。
②暗い場所（約１０ルクス以下）で使用し続けた場合の補助電池の寿命は約２．５年。
ただし、その後も①を満たしていればご使用になれます。
●電波受信機能　：自動受信　毎日午前２：００（受信できない場合は午前６：００まで毎正時）
次回の受信までクオーツの精度で動いています。
手動受信（強制受信）

※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

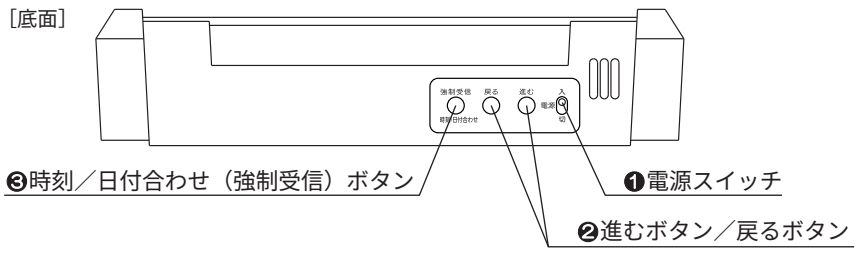
付属品

● 取扱説明書（本書）１枚　　● 保証書 １枚

■各部の名称



［底面］



❶電源スイッチ
ご使用時は電源を「入」にしてください。
長期間ご使用されない場合は「切」にしてください。

❷進むボタン／戻るボタン
現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン
現在時刻や日付を合わせるときに使用します。（2秒以上押しつづけてください。）
また、通常表示（日付・時刻が表示された状態）に押すと、標準電波の受信を開始します。

■ご使用方法

ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

1．電源を入れてください

底面の「❶電源スイッチ」を「入」（上側）にしてください。
表示が全てついた後、時刻「午前12：00」となり、標準電波の受信を開始します。

2．時計を設置してください

本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。

●受信中は、Ⓔマーク（またはⓌマーク）が点滅し、受信マーク（ ）が信号に応じて変化します。
●受信に要する時間は最長約２２分間です。

［受信成功］

受信マーク（ ）が表示され、［月／日］［曜日］［時：分］［秒］が正しい日付と時刻に修正されます。
●福島送信所の標準電波を受信した場合はⒺマークが、九州送信所の標準電波を受信した場合はⓌマークが表示されます。
●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。
●受信マーク（ ）は過去２４時間以内に受信が成功している場合に表示されます。

［受信できない］

受信マーク（ ）は表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。
●場合により、［時：分］［秒］のみ、正しく時刻を表示することがあります。その後受信に成功すると、［月／日］［曜日］も正しく表示されます。

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
表示が出ない	・内蔵のマイコンが正しく動作していない。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・電源スイッチを一旦「切」にしてから「入」にしてください。 ・右記「■電池交換について」をお読みください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・内蔵のマイコンが正しく動作していない。 ・静電気等による誤動作。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・電源スイッチを一旦「切」にしてから「入」にしてください。 ・右記「■電池交換について」をお読みください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。 ・静電気等による誤動作。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・右記「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・電源スイッチを一旦「切」にしてから「入」にしてください。 ・右記「■電池交換について」をお読みください。
「省エネモードマーク」しか表示されていない	・省エネモードになっている。	・暗くなると「省エネモードマーク」のみ表示されます。明るくなると［通常表示］に戻ります。

■自動受信について

毎日１回（午前２：００）、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。
●受信できない場合は午前６：００まで毎正時自動受信を行います。

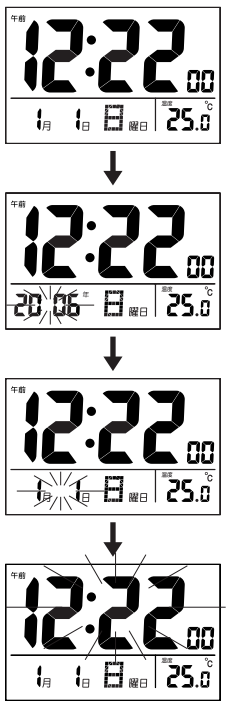
■電波が受信できなかった場合

1．電波を強制的に受信して時刻、日付を合わせてください

「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
●受信状態については、左記「■ご使用方法　2.時計を設置してください」をご覧ください。
●うまく受信できない場合は本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マーク（ ）が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
●**詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。**
また、１日の内で夜間の方が昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

2．手動で時刻、日付を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
①「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を２秒以上押し続けてください。
②「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
③「❷進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
●「❷進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●途中で［通常表示］に切り替える場合は、「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を２秒以上押し続けてください。
●約５分以上「❷進むボタン／戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。時刻や日付は［通常表示］に切り替わる直前の表示です。



[通常表示]
普段はこの表示でお使いください。

[年合わせ表示]
「❷進むボタン／戻るボタン」で年を合わせてください。
年は２０００年～２０６９年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。

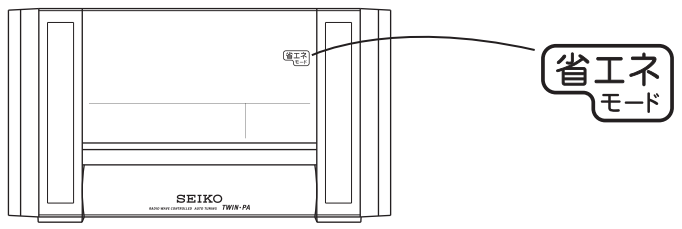
[月／日 合わせ表示]
「❷進むボタン／戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。

[時刻 合わせ表示]
「❷進むボタン／戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「❷進むボタン／戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は０秒にリセットされ、（００）から動き出します。

④時刻合わせが終了しましたら、「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を押して「通常表示」に切り替えてください。

■光センサーによる自動表示ＯＦＦ（省エネモード）について

暗い所（約１０ルクス以下）では電池の消費を抑えるために、時刻、日付、温度表示が表示されません。
●「省エネモードマーク」が表示されます。
●明るくなると「通常表示」に戻ります。



■自動受信を止めるには

この時計は下記手順により、自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や設定をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）
①「❶電源スイッチ」を「切」にしてください。
②「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を押しながら、「❶電源スイッチ」を「入」にしてください。
③ 表示が［通常表示（午前12：00）］に切り替わったら、「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」をはなしてください。
④ 上記「■電波が受信できなかった場合　2.手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後も「❸時刻／日付合わせ（強制受信）ボタン」を押すと受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、「❶電源スイッチ」を一旦「切」に合わせてから「入」にしてください。

■電池交換について

●本機は屋内の明るい場所（約３００ルクス以上）で１日あたり８時間以上の光を受けた場合、補助電池を減らさずに光発電と充電池で動きます。
●暗い場所（約１０ルクス以下）で使用し続けた場合、補助電池で約２．５年間動き続けます。ただし、その後も屋内の明るい場所（約３００ルクス以上）で１日あたり８時間以上の光を受ければご使用になれます。（光発電で余った電気は充電池に充電され、補助電池には充電されません。）
●長時間使用しないときは、「❶電源スイッチ」を「切」に合わせてください。補助電池の消耗を抑えます。「❶電源スイッチ」を「切」にした場合は設定した時刻等はすべてリセットされます。
●ご使用中に表示が「薄くなったり」「消えたり」するようになったら補助電池の交換時期です。このようなときはセイコークロックの販売店にお持ちください。セイコーサービスステーションにて有償で補助電池を交換いたします。（交換費用については販売店にお問い合わせください。）
・本機は光センサーによる自動表示ＯＦＦ（省エネモード）がついています。暗い場所（約１０ルクス以下）で電池の消費を抑えるために、時刻･日付･温度表示を消灯し「省エネモードマーク」が表示されます。補助電池の交換時期と間違われないようご注意ください。

■ご注意

●この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「❶電源スイッチ」を一旦「切」に合わせてから「入」にしてください。
●「❶電源スイッチ」を「切」にした場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。